

様式 1（専門職によるアドバイス支援事業 依頼書）

平成 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒150-0031

住所 東京都渋谷区桜丘2番9号 第一カスヤビル

事業者名 トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

担当者所属

担当者名 伊藤 貴紀

電話番号 03-5459-1295

電子メールアドレス ito@www-biz.co

専門職によるアドバイス支援事業 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「専門職によるアドバイス支援事業」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

平成 年 月 日

専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書

1. 希望する事業の種類 (いずれかに○印を記入してください。)

1. 介護現場と開発企業の意見交換の実施	
2. 試作機器へのアドバイス支援	○

2. 依頼者(企業)の概要

企業名	トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	
担当者名	伊藤 貴紀	
担当者連絡先	住所	〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-2 東宝ツインタワービル3階
	電話	03-5459-1295
	電子メールアドレス	ito@www-biz.co
主たる業種	製造業	
主要な製品	排尿予測デバイス「DFree (ディー・フリー)」	
希望する施設等の種類や職種等	サービス付き高齢者住宅、介護付有料老人ホーム、通所介護施設、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、リハビリ施設、IBS患者など。	
その他	特になし	

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要 (可能な限り詳しく記入してください。)

機器の名称(仮称)	排便予測デバイス「DFree(仮称)」	
試作機器の有無及び機器のコンセプト(試作機器あれば写真を添付)	試作機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴 下腹部に装着した超音波センサーで腸の変化をモニタリングすることで排便の可能性を判定し、トイレ誘導や、迅速なおむつ交換を実現する。	
	<試作機(本体)の写真> 	

想定する使用者及び使用方法、使用場面	① 想定する使用者 老人ホーム、介護施設、リハビリ施設に入居する高齢者、IBS患者 ② 想定する使用方法 下腹部に装着した超音波センサーで腸の動きをモニタリングし、動きの大きさに応じて、トイレ誘導や、迅速なおむつ交換を行う。 ③ 想定する使用場面 - 便秘の利用者に対して、下剤を投与した際の効果確認および排泄ケアタイミングのお知らせ用途。 - IBS下痢型の方に対して、下痢をもよおすタイミングのお知らせ用途。
現在の開発状況と主な課題	<開発状況> - 体内臓器の動きをモニタリングする試作機を製造済みである。試作機によって、社内の健常者に対する長時間モニタリングにより、腸の動きの変動を捉えることに成功している。 <課題> - 健常者に対する検証の数増し - 健常者以外の被験者（高齢者、便秘症、下痢症、排便にお困りごとを抱えている方）のデータ集め - 介護施設などでサービスとして利用してもらうためのソフトウェア仕様の策定 - デバイスの省電力化及び小型化
特にアドバイス（意見交換）を希望している事項	- 施設利用者全体における、便秘症の方、下痢症の方の割合。 - それぞれの症状の方に対する対処方法、対処タイミング。決まったプロセスがあるのか？医師もしくは看護師の判断によるのか？ - 介護士の排便に関する知識はどの程度なのか？（便秘の判断、ブリストルスケールなど。定期的なセミナーが開催されているのか？） - 排泄処理（特に排便）での失敗事例。 - 上記を調査の上で、トイレ誘導、ADLの改善、自立排泄の可能性について意見交換したい。 - その結果として、介護者の就労時間、負担、オムツ費用の削減について意見交換したい。
その他	特になし

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

会社案内

2018年11月1日
トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

- ・社 名：トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
- ・所在地：東京都千代田区有楽町1-5-2 東宝ツインタワービル3階
- ・代表者：代表取締役 中西 敦士
- ・設 立：2015年2月18日
- ・資本金：3億4,874万円（資本準備金含む）
- ・事業内容：排泄予知ウェアラブル「DFree」の企画・開発・販売

<主要株主等>

■Seed Round



■NEDO STS Program



■Series A Round



- 2015年 2月 : 会社設立
- 3月 : ニッセイ・キャピタル「NCCベンチャーグランプリ2015」受賞
「Pioneers Festival Japan」優勝
- 2016年 2月 : 経済産業省所管国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
「シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援助成事業」採択
- 3月 : 「Aging2.0 Global Startup Search IN Japan」最優秀賞 受賞
- 11月 : Forbes Japan「Next Rising Star Award」受賞
- 2017年 2月 : 川崎市「かわさき基準」に採択決定
- 3月 : 経済産業省「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2017」グランプリ受賞
: 経済産業省所管国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
「企業間連携スタートアップに対する事業化支援助成金」採択
- 4月 : 介護施設向けDFreeサービス開始（日本）
- 11月 : 東京都「世界発信コンペティション」技術特別賞
- 12月 : 内閣府所管国立研究開発法人日本医療研究開発機構
「ロボット介護機器開発・導入促進事業（開発補助事業）」採択
- 2018年 1月 : 日本経済新聞社「日経優秀製品・サービス賞 日経MJ賞」最優秀賞
- 7月 : 個人向けDFreeサービス開始（日本）
- 9月 : 個人向けDFreeサービス開始（米国）



中西 敦士
Atsushi NAKANISHI
代表取締役
Founder & CEO

慶應義塾大学商学部卒。UC Berkeley MBTプログラム修了。コンサルティングファームにて、ヘルスケア分野を含めた新規事業開発支援に従事。JICAでフィリピンへ派遣され、村の収入向上のための事業開発を行う。その後、米国留学を経て、当社創業。



村木 洋介
Yosuke MURAKI
取締役
CTO

東京大学工学部産業機械工学科修士課程修了（UC Berkeley 留学）。SONYにて、プレイステーションや医療機器など多くの主力製品の開発に関与。その後、グローバル産業用カメラのJAIコーポレーションCTOを経て、2017年9月より当社へ参画。



小林 正典
Masanori KOBAYASHI
取締役 日本支社長
CFO

慶應義塾大学商学部卒。Deloitte Consulting、楽天などで、経営戦略・事業戦略策定、市場調査、マーケティング支援、M&Aアドバイザー、IR支援、新規事業開発など経営コンサルティング・ファイナンスに従事した後に、創業初期から当社へ参画。



正森 良輔
Ryosuke MASAMORI
研究開発責任者
VP of R&D

大阪大学大学院工学部研究科修了。英国サセックス大学国際教育開発学修士課程修了。オリンパスメディカルシステムにて、内視鏡をはじめとした医療機器の研究開発に従事。当社創業当初から研究開発を統括し、超音波技術と排泄予測に関する特許多数。



高柳 太一
Taichi TAKAYANAGI
米国支社長
General Manager

米国シカゴ大学Booth School of Business MBA。SONY USAにてマーケティング業務に従事。プレイステーションをはじめ、数多くのコンシューマープロダクトの販売拡大に寄与。その後、日本企業のアメリカでの事業立ち上げ支援を経て、当社へ参画。



浦部 雄平
Yohei URABE
フランス支社長
General Manager

スペイン IE Business School MBA。Accentureにて、経営コンサルティング及び大規模システム開発などに従事した後、楽天にてグローバル事業の戦略策定や事業開発を経てスペインへ留学。2017年より当社に参画し、欧州事業を統括。

兵庫県明石市生まれ。2006年慶應義塾大学商学部卒。

大手商社や通信会社向けに、医療分野を含む新規事業の立ち上げのコンサルティング業務に従事。その後、2012年、青年海外協力隊にてフィリピンに赴任し、マニラ麻農家の収入向上プロジェクトを、大手商社、製紙メーカー、フィリピン政府と組んで実行する。2013年よりUCバークレー校でビジネスを学ぶ。

2014年、Triple W（米国）を設立、CEO就任。2015年2月、トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社を設立し、代表取締役就任。排泄予知ウェアラブル「DFree」の企画・開発・販売を行う。

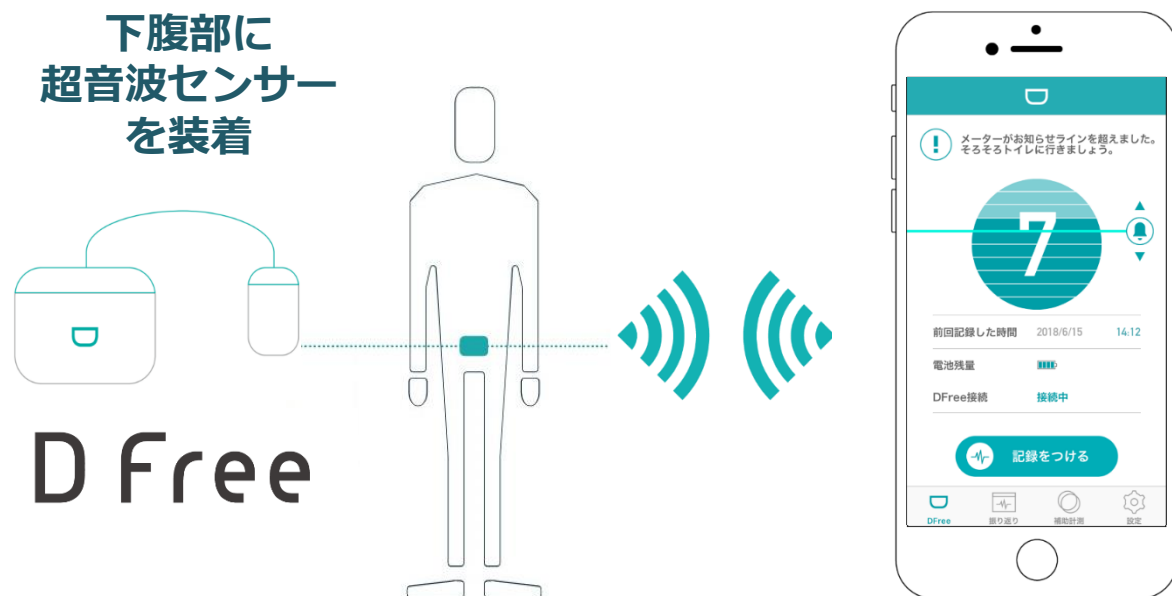
<主な講演等の実績>

- ・厚生労働省「保健医療分野におけるA I 活用推進懇談会」
- ・経済産業省「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2017」グランプリ
- ・北九州市「介護ロボット開発コンソーシアム」顧問
- ・自由民主党「人工知能未来社会経済戦略本部及び経産部会」

<著書>

「10分後にうんこが出ますー排泄予知デバイス開発物語ー」（新潮社）

超音波で膀胱の変化を捉え、排泄までのタイミングなどをスマートデバイスにお知らせ

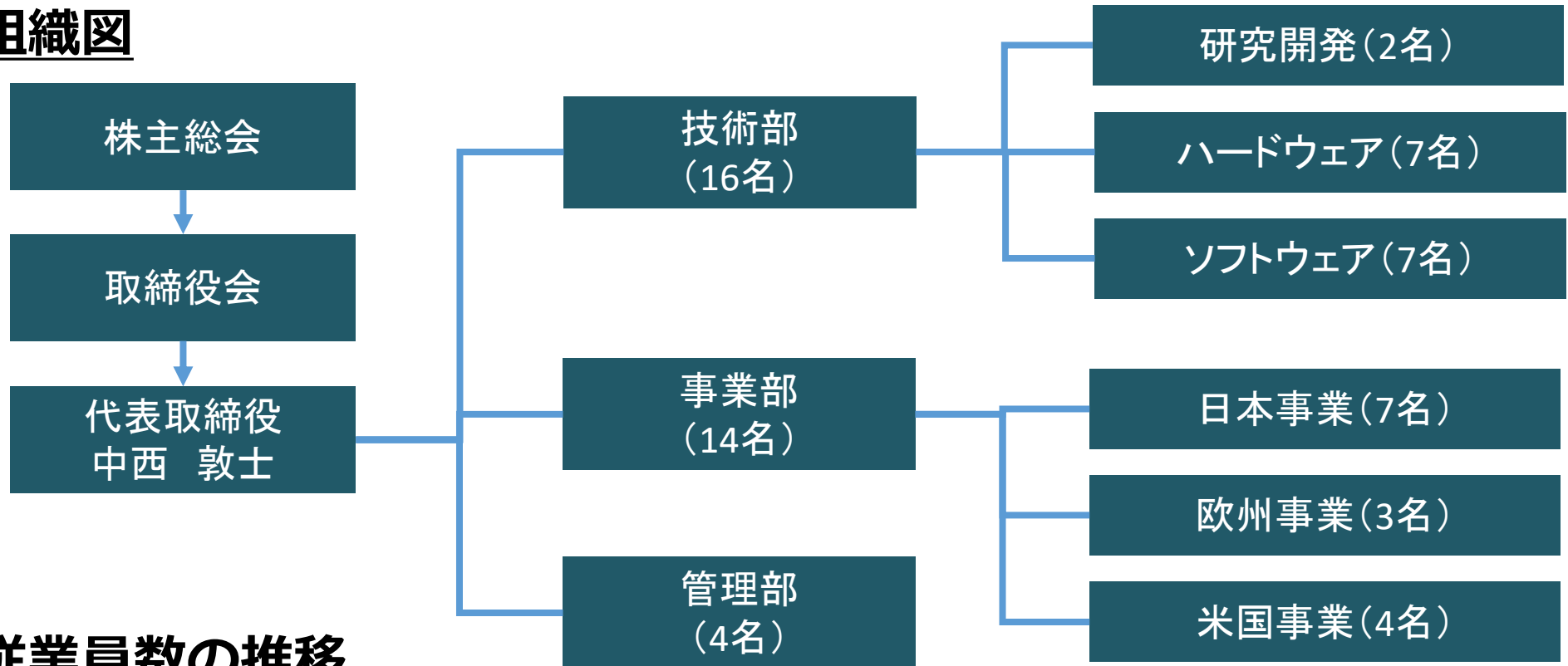


【個人向けサービス】

膀胱内の尿の溜まり具合をリアルタイムで把握し、排尿のタイミングをお知らせ

- ・ 世界50カ国以上から問い合わせ
- ・ 2018年7月より在宅（個人）向け販売を開始
- ・ 介護施設向けは、国内の介護施設（約150施設）にて導入済

組織図



従業員数の推移

年月	2015年12月末	2016年12月末	2017年12月末	2018年8月1日時点
従業員数	3名	8名	18名	34名